

みせ お店・イベントなどのお知らせ

	べらしお福祉住吉東店	コブン・カフェ	手づくりショップ・パンプ	田辺大根堂
こななお店	名物は塩ラーメン！ サイドメニューも充実しています	メニューがどんどん進化しています！ 名物はサンドイッチ！	パンと焼き菓子のお店です 名物はふわっふわのシフォンケーキ！	なごみ玄関で採れた で野菜や乾物などを 販売しています！
開店曜日	月～金曜日	月～金曜日	月～金曜日	毎週木曜日
開店時間	11:30～13:30	9:30～14:30	10:00～16:00	10:30～
備考	6月はお休みありません	6月はお休みありません	6月はお休みありません	6月はお休みありません
	FamilyFriendly らふら	みんなのマーケット るびなす	るびなす みんなの食堂	まちかど喫茶 よさみ野 作業所
こななお店	いろんな作業所で作った製品を集めて販売しています 名物は手作りトートバッグ！	堺市南区高倉台にある、 就労支援のスーパーマーケットです！	高倉台にあるみんなの食堂 土曜の朝集合！	なごみ地域交流スペースのふれあい喫茶です
開店曜日	火～土曜日	月～金曜日	第1土曜日 6月7日	毎週木曜日
開店時間	10:00～16:00	10:00～17:00	11:00～14:00頃	10時～15時
備考	6月はお休みありません	6月はお休みありません	参加費(こども)100円 参加費(おとな)300円	6月はお休みありません
	なごみ食堂	ごはん倶楽部	オレンジカフェ ななしのごんべえ	
こななお店	なごみ地域交流スペースで、参加者で調理して、みんなで食べます！調理が苦手な方も大歓迎です。		大領であい2階・地域交流スペースにて開催	
開店曜日	第3火曜日 6月17日	第3木曜日 6月19日	第2土曜日 6月14日	
開店時間	16:00～19:00	17:00～20:00	14:00～16:00	
備考	参加費100円	参加費200円	参加費100円	

ご寄附をいただきました。ありがとうございました(2024年4月～25年3月)

阿久井修・浅田信雄・井上和美・今村喜彦・大西敬子・大西眞紀子・岡本嘉世・奥野美佐子・金子泰秀・亀石清人・河内俊憲・河内和美・河内伸介・河内たつ江・川崎信也・北野葵依・木畑陽・倉田祐輔・九里美也子・阪野修・阪本三雄・里沖美佐緒・高垣颯太・谷本愛・地原泰江・辻埜和久・寺田航・徳山慎太郎・中谷恵一・成宮正夫・西園脩作・西村美保子・林美之・坂東直昭・原洋子・東川忠生・福島豊治・福留米子・畚野信也・藤岡桃香・藤本倅輝・堀田大智・堀田春國・増田晃史・松岡よし子・湊育子・湊重次・三木誠・三松ちか・宮崎甲子夫・森田サトノ・森本真紀・森本啓太・安川修右・吉川登(以上、敬称略)ほか匿名の方(40名)から現金でのご寄附をいただきました。
大阪いずみ市民生活協同組合・さかい子ども食堂ネットワーク事務局
ほか19名の方から物品のご寄附をいただきました。

Vol.261

ライフサポートだより

2025年6月号
(社福)ライフサポート協会
〒558-0054
大阪市住吉区帝塚山東5-10-15
☎06-6676-0753
✉info@lifesupport.or.jp

かんしゃさい だいせいきょう なごみ感謝祭 大盛況

とくべつようごろうじん
特別養護老人ホームなごみ
なごみデイサービス

5月10日(土)、恒例の「なごみ感謝祭」を開催しました。
バザーを中心に、特養からは、唐揚げ・焼きそば・フライドポテト・ジュースとゲームコーナー、デイサービスからは「なごみカレー」。らふらからもオガリ作業所のバッグ・るーぶ班のさくり作品、素敵なお小物を集めた雑貨店を出店。
なごみの広報活動に大いにご協力いただいているTAKK株式会社草苅氏には、なごみフードコーナーでは初めての「タコス」を出店していただきました。
感謝祭は10時半からのスタートにもかかわらず、9時過ぎには早々と来客が。



今年入社した新人職員と、ボランティアさんや地域の方々と交流しながら、楽しい時間を過ごさせていただきました。
バザーでは「これなんぼ?」→「いくらにしましょう?」→「ん～10円」→「OKです」といった感じで値段交渉し、なかには両手いっぱい品物を持って帰られる方も……。

皆様のご協力のおかげで、今年もなごみ感謝祭を無事に開催することができました。
なごみ感謝祭にバザーの品物を寄付していただいた皆様方には、感謝しかありません。
本当にありがとうございました。

祝 きずな開設18周年

しょうきばたきのうがたきょかくかいご
小規模多機能型居宅介護きずな



5月1日(木)きずな開設18周年のお祝いをしました。利用者さん、職員合わせて約40名程が集い、わちゃわちゃしながらきずなで開催しました！
今年のテーマは「これからもよろしくね★」
改めてみんなで自己紹介をして、盛大にお祝いしました。そして、よお～～～笑いしました(^)

てんき ま がんば
天気にも負けず頑張っています！

さぎょうしょ せいそうはん
オガリ作業所 清掃班

せいそうはん がつ
清掃班では3月から オガリ作業所、住吉総合福祉センター
などのエアコンフィルター清掃を実施しています。

この日はブラシで埃を掻き出す係と掃除機で埃を吸う
係の二手に分かれて作業をしました。参加された利用者さんは
ピカピカになるまで懸命に作業をしていました。

この日はあいにくの曇り空で、フィルターがなかなか乾か
ないというハプニングもありましたが、無事、取り付けまで
完了できました。



5月6日（火）には、なごみ地域交流スペースのワックス
がけを行いました。雨模様でしたが、風に恵まれ、ワックス
液が乾くのが早かったこともあり、予定より短時間で作業が
終了しました。

参加された利用者さんは、作業の様子を見に来たなごみの
スタッフから「がんばってるね」と声をかけられるたびに嬉
しそうにされていました。



職員厚生会でお花見

4月6日に長居公園にて（社福）ライフサポート協会職員
厚生会によるお花見を実施しました。当日は今年一番の天気
に恵まれ、桜も超満開！参加者は13人で、職員の子ども達も
参加してくれました。

お食事はみんな大好きロピアのピザや、551蓬莱の肉団子、であい高
齢 南出さんのご近所から 唐揚げなどバラエティー豊かでした。



参加者には自己紹介の中で「自分の好きな時間」について話
していただきました。

普段はなかなか顔を合わせることがない他部署の職員同士で
すが、今回の企画を通して人となりを知ることができました。
新入職員が2人も来てくれたことも嬉しかったです。



花より団子状態の盛り上がりで、最後にギリギリ記念撮影を撮
ることができました。

来年度もお花見企画をしたいと思いますし、厚生会員からの企画
立案も大歓迎ですのでよろしくお願い致します～★



れんぞく
連続コラム

そうだん
こころの相談ネットふうがってどんなところ？

さいしゅうかい
最終回

◆(大阪市)地域生活移行推進業務

おおさかしな い ち い き せい かつ い こう す い しん ぎょう む
大阪市内のすべての地域活動支援センター 生活支援型では、障がいのある人達が地域で暮らす
ことを選択することができるように、様々な政策提言を行ってきました。

そのなかの1つとして、「地域生活移行推進事業」があります。病状が安定しながらも様々な
事情で精神科病院に長期入院されている方に対して、退院意欲を高め、本人の意向により、障
がい者自立支援法の地域移行支援の申請ができるように支援するものです。これは、大阪市の独自
事業であり、行政・地域活動支援センターが協力し、ソーシャルアクションとして実った事業
です。9センター連名で嘆願書をだし、行政や市議員さんなどにも課題と必要性を伝え、大阪市の
職員さんも懸命に取り組んでいただき、事業化されたものです。

「退院したい」という意思があって初めて、契約→支援開始となります。この意思を支えること
こそが重要です。そのため、地域移行支援を利用する、つまり「わたし、退院してみようと思う。
手伝ってください」という「退院意欲を喚起」するために、この事業があります。半年間、月3回
の訪問にかかる職員とピアサポーターさんの人件費、交通費の予算が確保されました。地域移行
支援を実施する上で、最初のハードルでもある「退院したい。でも不安」という気持ちをほぐし、
チャレンジする勇気を抱くことです。

時間をかけて寄り添い、「退院できるかどうかはわからないけど、退院に向けて動き出してみよ
う。この人達に退院支援をしてもらおう」という意欲を抱いてもらうための、いわば「私の退院
支援チーム」を作る期間となります。ピアサポーターさんとともに、病院に訪問し、患者さんと
の信頼関係を作ることを何よりも優先します。ご本人が不安になっている「退院」という言葉を全面
に出すことなく、ただただ会いに行く。それをとにかく続ける。本人の入院生活に「地域の風・
温度」を届けます。病棟の窓から見る景色ではなく、外に出て、空気の温度、町の香りを感じて
もらいます。

そうした関わりが、不安をやわらげ、地域移行支援＝退院支援の本格始動のステージに移ってい
く準備期間となります。

退院できない理由は、決して患者さんの本人だけに原因がある訳ではありません。私たちが暮
らす地域や社会の在り方、分断されて生きること慣れ過ぎた私たちのひとりひとりの意識も問
われているのです。

改めて、ふうがのスローガンを紹介して、この連載を終えたいと思います。

『障がいや疾病を理由に排除しない、過剰な管理もしない。サロンを利用するすべての人（利
用者・地域住民・ボランティア・実習生・職員）が安心して過ごせる場となるように、お互い
を労い合える場所であることを大切にしたいと考えています。これらは、誰かだけがその役割
を担って、提供するものではなく、「地域の一員」としてサロンを利用するすべての人が相互関
係のなかで大切にしていこうこと、この思いが、サロンから地域へと広がっていくことで、誰もが
暮らしやすい地域になることを信じています』